

群馬県産業振興基本計画(R3.4～R6.3)の取組結果について

1 重要業績評価指数(KPI)の達成状況

14項目のうち、**5項目で「達成」**したほか、未達成であるが、4項目が策定時から前進した。

(1) 評価(次の4段階で評価)及び全体の状況

項目	内容	項目数	割合
1 達成	目標を上回り達成した状態	5	35.7%
未達成			
2 前進	未達成であるが、策定時から前進した状態	4	28.6%
3 横ばい	策定時から目立った数値の変動が見られなかった状態	0	0%
4 後退	計画策定時より後退した状態	5	35.7%
合計		14	100%

(2) 各 KPI の達成状況

ア 目標を達成した指標

	重要業績評価指数(KPI)	目標値(R5)	策定時(R1)	実績(R5)
5	スタートアップ支援事業による支援起業家数	90件(R3～R5)	－	169件
7	事業承継計画策定件数	600件(R3～R5)	293件(H30～R1)	1,068件
8	事業継続計画(BCP)策定支援数(県関係分)	150件(R3～R5)	396件(H26～R1)	193件
10	延べ宿泊者数	895万人泊	865万人泊	1,026万人泊
13	民間企業における障害者実雇用率	2.25%	2.14%	2.28%

イ 未達成だが前進した指標

	重要業績評価指数(KPI)	目標値(R5)	策定時(R1)	実績(R5)
1*	県内総生産(名目)	93,000億円	89,704億円(H29)	91,410億円(R3)
3*	1人当たり賃金(年間・全業種計)	450万円	431.8万円	435.9万円
4*	1人当たり付加価値額(労働生産性)	918万円	885.4万円(H29)	890.8万円(R3)
11	年次有給休暇取得率	62.0%	52.4%	57.7%

ウ 策定時から後退した指標

	重要業績評価指数(KPI)	目標値(R5)	策定時(R1)	実績(R5)
2*	1人当たり県民所得	340万円	332.5万円(H29)	318.7万円(R3)
6	地域経済牽引事業計画策定件数	75件(R3～R5)	68件(H29～R1)	64件
9	観光消費額	3,090億円	2,845億円	2,644億円
12	管理職に占める女性の割合	25.0%	16.1%(H29)	10.7%(R4)
14	ジョブカフェ利用した就職者数(若者)	1,200名	1,072名	807名

*1～4のKPIについては、統計データの遡及改定が行われるため、例えば、策定時のH29数値と最新のH29数値は異なる。

2 有識者による評価・検証状況

令和6年8月20日（火）に群馬県産業振興基本計画推進有識者会議を開催し、取組結果に係る意見・今後の取組に対する要望をいただいた。

（１）群馬県産業振興基本計画推進有識者会議構成員

五十音順（産業経済部長除く）

氏 名	所属団体・役職
荻野 研司	（一社）群馬県情報サービス産業協会 前会長
武井 宏	（株）ボルテックスセイグン 代表取締役/（一社）群馬県トラック協会 会長/安中市商工会会長
手塚 加津子	昭和電気鋳鋼（株） 代表取締役
長瀬 裕一	群馬県職業能力開発協会 会長
福岡 仁志	（株）商工組合中央金庫前橋支店 支店長
福嶋 誠	（有）きたもつく 代表取締役/北軽井沢観光協会 会長
牧野 恒介	日本ミシュランタイヤ（株） 社長室長
松本 由起	ホテル松本楼 おかみ
結城 恵	群馬大学 キャリアサポート室長/大学教育・学生支援機構学生支援センター教授（兼担）情報学部教授
相川 章代	群馬県産業経済部長

（２）主な意見

ア 人材育成

- ・ 人材育成は非常に重要である。特にTUMOセンターについては、若いIT人材を育成するにあたって非常に強力な仕組みとなる。
- ・ 人材育成は大きなテーマであり、地元で働くために必要な知識を得ることができるのではないか。

イ 企業支援

- ・ 県が把握している事例を公表することが様々な取組の普及に繋がる。
- ・ SDGsは大企業と中小企業でまだ意識の差が大きいため、行政の力を前面に出して、企業の取組を後押しする必要がある。

ウ その他

- ・ 県内の取組として様々な事業があるが、県境を跨ぐ連携は、新しいアイデアが生まれると思う。
- ・ 県民や産業界が県の事業を受けて、自身や自社における次の取組の兆しが生まれるものは持続可能性の高い事業と言える。
- ・ 年次有給休暇取得率の向上は、社員にとっても企業にとってもメリットがある。
- ・ コロナを機に旅館では、団体客から個人客にターゲットを変え、宿泊人数は減るが、客単価を上げる構造に変わっている。